

■コメント

1. ヘルパンギーナ

定点当り2.83人と増加しており、5週続けて増加しています。安芸区では11.0人と特に多く、佐伯区4.7人、南区3.3人、西区3.0人となっています。

2. 伝染性紅斑

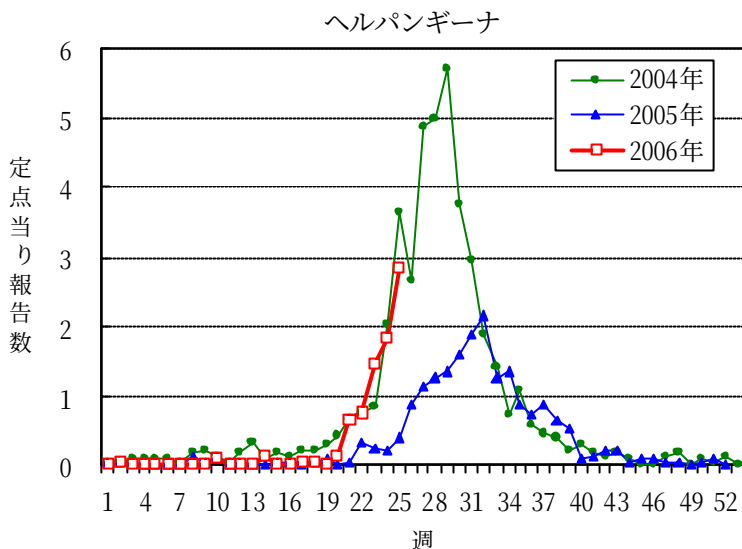
定点当り0.88人とやや増加しています。佐伯区では2.3人と特に多く、中区1.3人、西区、安芸区ともに1.0人となっています。

3. インフルエンザ

定点当り0.54人と増加しています。報告数20人のうち、18人は安芸区からの報告です。全市的にはほぼ終息状況ですが、一部の地域で小規模な流行が発生していると考えられます。

4. その他

無菌性髄膜炎が9人(定点当り1.29人)、マイコプラズマ肺炎が10人(定点当り1.43人)と、ともに例年同時期と比べて多くなっています。



■5類感染症報告状況(定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1)間	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1)間	発生記号
インフルエンザ(注2)	20	0.54	0.01	▲	麻疹(注3)	-	-	0.04	□
咽頭結膜熱	16	0.67	0.40	□	流行性耳下腺炎	31	1.29	1.55	▶
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	36	1.50	1.43	□	RSウイルス感染症	-	-	-	□
感染性胃腸炎	109	4.54	4.11	□	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	□
水痘	66	2.75	1.89	□	流行性角結膜炎	2	0.25	1.20	□
手足口病	11	0.46	6.07	□	細菌性髄膜炎	-	-	0.03	□
伝染性紅斑	21	0.88	0.70	□	無菌性髄膜炎	9	1.29	0.60	□
突発性発しん	22	0.92	1.19	□	マイコプラズマ肺炎	10	1.43	0.23	□
百日咳	1	0.04	0.07	□	クラミジア肺炎(注4)	-	-	-	□
風しん	-	-	0.07	□	成人麻疹	-	-	-	□
ヘルパンギーナ	68	2.83	2.89	▲					

急増減	▲	▼	前週と比較しておおむね1.2以上の増減
増減	▲	▼	前週と比較しておおむね1.1.5～2の増減
微増減	▲	▼	前週と比較しておおむね1.1.1～1.5の増減
横ばい	→	←	ほとんど増減なし

報告数が少ないなど、傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注1) 過去5年間の同時期平均(定点当り)

(注2) 高病原性鳥インフルエンザを除く

(注3) 成人麻疹を除く

(注4) オウム病を除く

■1類～5類感染症報告状況(全数把握対象分)

類型	疾患名	報告数	累積	備考
5	急性脳炎	1	6	男性(10歳未満)
5	後天性免疫不全症候群	1	3	男性(20歳代)

■ 5類感染症報告状況の推移 定点把握対象分)

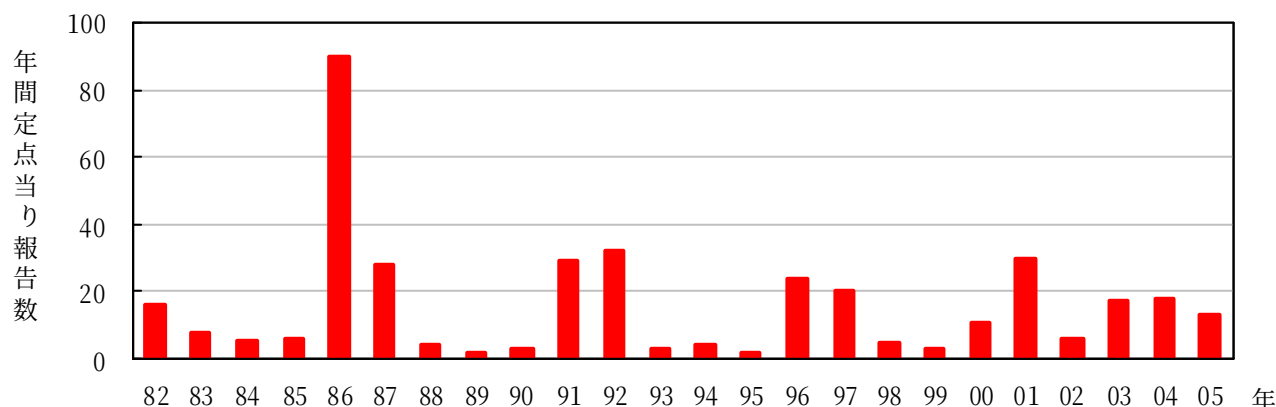
			インフルエンザ (注1)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん(注2)	流行性耳下腺炎	RSウイルス 感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎 (注3)	成人麻しん
報告数	広島市	第21週	65	9	63	156	70	2	7	17	1	-	16	-	20	-	-	8	-	1	2	-	-
		第22週	11	18	79	167	94	-	12	28	-	-	18	-	30	-	-	4	-	1	5	-	-
		第23週	8	24	62	125	79	8	9	20	1	1	35	1	34	-	1	4	-	2	5	-	-
		第24週	11	21	45	133	85	9	19	23	1	-	44	-	29	-	-	3	-	1	8	-	-
		第25週	20	16	36	109	66	11	21	22	1	-	68	-	31	-	-	2	-	9	10	-	-
定点当り	広島市	第21週	1.81	0.38	2.63	6.50	2.92	0.08	0.29	0.71	0.04	-	0.67	-	0.83	-	-	1.00	-	0.14	0.29	-	-
		第22週	0.30	0.75	3.29	6.96	3.92	-	0.50	1.17	-	-	0.75	-	1.25	-	-	0.50	-	0.14	0.71	-	-
		第23週	0.22	1.00	2.58	5.21	3.29	0.33	0.38	0.83	0.04	0.04	1.46	0.04	1.42	-	0.13	0.50	-	0.29	0.71	-	-
		第24週	0.30	0.88	1.88	5.54	3.54	0.38	0.79	0.96	0.04	-	1.83	-	1.21	-	-	0.38	-	0.14	1.14	-	-
		第25週	0.54	0.67	1.50	4.54	2.75	0.46	0.88	0.92	0.04	-	2.83	-	1.29	-	-	0.25	-	1.29	1.43	-	-
全国	第23週	0.83	1.30	2.51	4.53	2.59	0.75	0.56	0.67	0.01	0.01	1.95	0.01	1.76	-	0.03	1.21	0.02	0.06	0.43	0.02	0.01	
	第24週	0.82	1.32	2.56	4.16	2.59	0.90	0.70	0.71	0.02	0.01	2.69	0.01	1.55	-	0.04	1.07	0.02	0.05	0.46	0.01	-	

注1)高病原性鳥インフルエンザを除く 注2)成人麻しんを除く 注3)オウム病を除く

■新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者 年齢	性別	発症 年月日	検査材料	検出病原体
細菌性髄膜炎 敗血症	0	男	2006/05/18	咽頭拭い液 髄液	エコーウイルス18型
不詳	0	女	2006/05/08	髄液	エコーウイルス18型
不詳	5	男	2006/05/18	咽頭拭い液	パレコウイルス

【参考】広島市における伝染性紅斑の年間定点当り報告数の推移 (1982年～2005年)



伝染性紅斑は、ヒトパルボウイルスB19による感染症で、頬(ほほ)がリンゴのように赤くなることから「リンゴ病」とも呼ばれます。

季節的には、6月から7月ごろを中心とした夏季に患者が多くなります。また、数年の周期で増減する傾向にあり、図に示したように、1986年、1991-92年、1996-97年、2001年とほぼ5年おきに患者が増加しています。この周期からいくと、今年は増加する年にあたりますが、現時点では例年と比べて、それほど多くはなっていません。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp

2006年第25週 (6月19日～6月25日)